

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

平成 30 年度 第 3 回常務理事会 議事録

開催日時：平成 30 年 9 月 14 日（金）午後 6：30 から

開催場所：技師会事務所

出席者：浅野、森（さ）、渡邊、佐藤、澤野、川合、後藤

欠席者：長谷部、柴、高崎

議長：浅野敦会長

議事録：後藤庶務部長

【各種連絡事項】

議長：浅野敦会長により進行された。

【庶務部長より】

1. 日本臨床衛生検査技師会より連絡

① 会費の送金について

・平成 30 年 7 月締め分、会費集金処理ができ、8 月 31 日付けで銀行口座へ振込みされた。

送金内訳

平成 30 年度会費 10,000 円×1 名=10,000 円

平成 30 年度入会金 500 円×1 名=500 円

平成 30 年度再入会金 なし

送金合計額 10,500 円以上の会費送金があった。（後藤庶務部長）

② 平成 30 年度「生涯教育推進研修会助成金」の送金について

・平成 30 年度「生涯教育推進研修会助成金」を 8 月 31 日付けで銀行口座へ振込送金された。

助成金内訳：輸血細胞治療部門研修会（2018/7/22）：¥30,000 円。以上の会費送金があった。

（後藤庶務部長）

③ 検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の受講促進のお願い

・平成 30 年 8 月時点、岐阜県の検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の現状として、平成 30 年 5 月の受講者 12 人、6 月の受講者 1 人、7 月の受講者 25 人。平成 30 年度の修了者 38 人。平成 29 年度までの修了者 642 人。修了者合計 680 人。会員数 857 人。修了率 79.3%。未修了者 177 人であった。（後藤庶務部長）

・先日名古屋で検体採取の講習会があった。岐阜からは 5～7 人ほどの参加があった。現在は約 8 割が終了している。来年度の新卒者は講習を受けるように案内をお願いします。（浅野会長）

④ 結核研究奨励賞候補推薦についての依頼

・公益財団法人結核予防会より、結核研究奨励賞候補者推薦依頼が届いた。（後藤庶務部長）

・毎年依頼の案内は届くが、当県ではあまり該当者に関して聞かないため出していないと思う。該当者はいますか？締切が 12/14 のため来月の理事会でも検討します。いない場合は該当者なし

で返答します。(浅野会長)

⑤ 「おがわしんじ君を激励する会」への参加について

- ・「おがわしんじ君を激励する会」への参加についての依頼が届いている。(後藤庶務部長)
- ・来年の夏の第25回参議院議員通常選挙に日本衛生検査所協会理事の小川真史氏が出馬されることになり、技師会からも激励する会が開催され各県の会長宛に案内が着ていたため出席する予定だったが、前日の台風の影響で参加できなくなり欠席となった。来年に挨拶にみえた時には対応していきたいと思う。(浅野会長)

⑥ 「医療法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う厚生労働省令の整備に関する省令の施行について(通知)」について

- ・県庁医療整備課からも同様に郵便があった。(後藤庶務部長)
- ・8月の定期便でも各施設に郵送し、技師会のHPにも医政発や官報が掲載され各施設、会員等に周知するには連絡をしている。しかし、実際運営していく上でまだまだ不明点が多いため、行政には説明会の開催を打診した。説明会には対応するという回答だったが、期日については回答待ち。12月1日から施行のため、この時期までには開催したいと思っている。日臨技からも必要書類のテンプレートを作成するという事なので、これらを踏まえ当技師会からも案内をしていきたいと思う。(浅野会長)

2. 自民党より連絡

① 平成31年度 県当初予算に対する要望について

- ・以前から毎年要望書は着ているが要望は出していなかった。要望があれば報告をお願いします。(浅野会長)

3. 愛知県技師会より

① 愛知県臨床検査標準化ガイドラインに対するパブリックコメントについて

- ・愛知県臨床検査標準化ガイドラインに対するパブリックコメントについて依頼があった。(後藤庶務部長)
- ・愛知県技師会は独自で検査値の標準化を行っている。今回、愛知県臨床検査値統一化ガイドラインを改正したという事で各県の技師会にパブリックコメントを募っている。当技師会からコメントを出したいので、確認後、意見や要望があれば連絡をお願いします。(浅野会長)

4. 岐阜県医療勤務環境改善支援センターより

- ・岐阜県医療勤務環境改善支援センターより中間報告があった。(後藤庶務部長)
- ・当技師会からは森副会長が出席している。医療勤務環境改善支援活動をしているという事を認識してほしい。(浅野会長)
- ・会議等は今後1月以降に行われる。その後、支援センターが介入したモデル病院の発表がある。各施設で改善を依頼したい施設があれば申し出もできる。また、「どういう活動ができるか」や「モデル病院がどのように改善してきたか」などの報告もある。昨年1月の会議では、当技師会で支援活動をしているという内容の勉強会をしたいという依頼があったが、年間スケジュールに入らなかったため次の機会に行いたい。女性が働く機会が多くなってきたため、支援の仕方(制

度)などのお知らせもしたいと思う。(森副会長)

・単独の勉強会だけではなく、県学会などの特別講演などで行ってもよいと思う。(今回の県学会は高山のため難しいかもしれない。)(浅野会長)

・参加人数が集まる会で企画したい。会議は2回/年しかないが次回の会議で提案・相談したい。(森副会長)

・春季拡大研修会(大垣)で開催を検討したい。(浅野会長)

5. ゆうメール運賃の見直しについて

・来年4月から後納扱いのゆうメール(定期発送など)が値上がりするそうです(後藤庶務部長)

・後納扱いのゆうメール(定期発送など)が来年4月から値上がりする(全体的に各重量が10円~20円ほど)が、事務所側からは契約を継続してほしいという要望があった。値上がりしてもヤマトのメール便より安い。(ヤマトの方が小回りは利くが、現在郵便局に持ち込みしていることが慣例化しているため、価格の安いゆうメールで問題はない。)また、佐川のメール特約は値段に差異が少なく集荷の小回りも利いて以前利用していたが、発送に1週間以上かかるので問題があると思われる。(佐川はいったん預かって、佐川が郵便局へ持ち込む方式のため時間がかかるという事だった。)精度管理のゆうパックも送料が特別料金に該当しなくなるので値が上がる。(岐阜県内宛精度管理は1個につき¥808円で発送しているが一般では¥1,020円かかる。)以上の事から値上がりはするが、郵便局で再契約を希望するという事だった。(浅野会長)

異議なし。以上承認された。

・ゆうメールで再契約をおこなう。(浅野会長)

6. 岐阜県糖尿病対策推進協議会より

・岐阜県糖尿病対策推進協議会より全国糖尿病週間における協賛金のお願いがきている。(後藤庶務部長)

・毎年の依頼で、毎年11月の全国糖尿病週間にあわせて糖尿病対策における啓発活動を行っているため、各団体に協賛をしてほしいという内容。昨年は2口2万円を協賛金として振り込んでいたが、今年も例年通り2口2万円で問題はないか?(浅野会長)

異議なし。以上承認された。

・11月18日(日)に世界糖尿病デー記念県民セミナー(岐阜グランドホテル)が行われるが、案内を定期便で発送する手配をしているため各施設に郵送されると思う。しかし、11/18は秋季拡大研修会の日のため会員の参加は難しいかもしれない。(浅野会長)

【岐阜地区より】

1. 岐阜市民健康まつりについて

平成30年11月4日(日)に岐阜市文化センターにて第39回岐阜市民健康まつりを行う。現在は参加スタッフを募集している。検査項目は昨年同様、尿検査(定性)、血管年齢、頸動脈超音波となった。現在参加スタッフ人数は少ないが締め切り前のため順次準備していく予定。(森副会長)

・ よろしくお願ひします。(浅野会長)

【西濃地区より】

1. 「第 23 回市民の健康広場」について

・ 近いうちに「第 23 回市民の健康広場」の打ち合わせ会議を行う。まだ詳細は決まっていない。
10 月の理事会には何かしらの報告ができると思う。(浅野会長)

【飛驒地区より】

1. 議題なし。

【中濃地区より】

1. 平成 30 年度秋季拡大研修会について

・ 11 月 18 日(日)に開催を予定している。会員向けの案内を作成したので今月の定期便で発送する予定。遺伝子部門の講師の先生からは未だ演題は届いていないので、決まり次第送ってもらおう。前回の理事会で相見積もりを取るよにとの事だったので、相見積もりを取った。150 部依頼で、200 部作成される。2 社に価格の開きが出た状況。(川合会計部長)

・ 内容に差はなさそうなので安い方に依頼する。予算書もお願ひします。遺伝子部門の講師の先生の演題に関しては、発送のギリギリ(29 日)まで待ちましょう。また、以前拡大研修会で AED の実技講習を行ったが、今後検討していきたい。(浅野会長)

【東濃地区より】

1. 議題なし。

【学術部より】

1. ノート型 PC と Pocket WiFi の購入について

・ 前回の理事会で承認されたノート型 PC と Pocket WiFi の購入経過とそれに伴う契約について。契約は 3 年契約のため、3 年毎に更新をするか機種変更するのかの選択になる。Y!mobile の契約は初月¥4,451 円で以後¥2,680 円となっている。(渡邊学術部長)

2. 生理部門の研修会について:外部講師を呼ぶ場合は理事会での承認が必要なため提出をお願ひします。また、学術から案内を出す前(すべての研修会)に、会長にも案内の内容を提出してください。(浅野会長)

【精度管理事業部より】

1. 平成 30 年 9 月 精度管理事業部報告

・ 活動計画として、試料発送(岐阜市民病院)8 月 26 日に済、回答締切り 9 月 11 日に済(各部門の担当者が回答集計、一次評価実施中)、集計作業締切り(一次評価終了)9 月 25 日、一次

報告書発送（C・D評価施設のみ）10月5日。試料発送作業は平成30年8月26日（日）10：00～岐阜市民病院で行った。作業内容として午前（10時～）CBC・HbA1c採血、分注作業 8名、午後（13時～）試料梱包作業 8名+12名、合計20名で作業をした。結構人数が多いと思われたが、血液班の担当者交代のための研修を含んだため人数が多くなった。次年度課題として、次年度は9：00に全員出席して、12：00に郵便局に引き渡せるように検討し参加人数を絞れるように計画をしていきたい。参加施設79施設分を梱包、発送元である岐阜市民病院を除く78施設分を郵送した。郵便局員へ引き渡しは15時と予定より回収が30分遅れた。（郵便局員の到着が遅れたため）問題点として、①請求書、領収書の会長変更 → JAMT-QCシステム会社（H&T社）に依頼 変更完了②JAMT-QCシステム内の機器・試薬分類の中分類のシステムトラブル → システム会社修正済③一般検査と生理検査の問題を一部修正した。（佐藤精度管理部長）

2. 平成30年度精度管理保証施設認証申請について

・毎年日臨技より精度保障承認取得の協力の依頼がある。平成29・30年度日臨技精度管理考査の結果から取得可能施設の一覧表が送られてきたので、申請の声掛けをしたい。申請料は5万円、申請のデータは日臨技HPから取得できるため定期便で各施設に郵送したい。（佐藤精度管理部長）

【会計部より】

1. 7月分の会計監査について

・7月分の会計監査を行い、会計処理は適切に行われていた。兼子前会長より、前年度データを頂き前年度と今年度を比較できるように「月別集計」を作成している。前年度に比べ今年度の方が予算の高い項目については右端欄に○を記した。（川合会計部長）

・昨年度と比べると7月までのところでは、経常費用としては80万円ほど多く掛かっている。共通（事務関連）や法人会計（役員改正など）で50万円ほど昨年度よりかかっているのが理由。これは昨年度では掛かっていない項目なので、これがかなり大きいと思う。また、今年度では什器備品費として大型のシュレッターの購入や新人サポートでの弁当代金、微生物の実技講習会の日程が昨年よりも早い月に行ったため昨年より費用が現在では掛かっている。しかし、無駄に予算を使っている訳ではないので、適正と判断はされると思う。懸念材料としては事務員の給与で、最近作業量が多くなってきていて時間外の手当てがかさんできている。年間を通すと10～20万円昨年より高くなると思われるが、お願いしないと会員では対応しきれないため致し方ない。賃金も昇給していくため、今後経費削減できるものを模索し実施していきたい。（浅野会長）

【組織調査部】

1. 平成30年度検査と健康展について

・平成30年度検査と健康展が、平成30年12月2日（日）にわかくさプラザ（関市）で関市いきいきフェスタと同時に開催される。各部門の企画内容を提出してもらっているが、生物化学分析部門と臨床微生物部門が未提出のため来週中には提出してもらうよう連絡をする。また、日臨

技より、『検査と健康展』のリーフレットやパンフレットが届いているので確認をし、当日に配布したい。(澤野組織調査部長)

・今回で4回目と毎年の行事。予算書を挙げてください。また、予算書には各部門のスタッフや必要備品の提示をお願いします。昨年は生理部門の人数が多かったが、去年ほど生理部門のスタッフは必要ないと思われる。そのため、スタッフの適切な定員の検討、提出をお願いします。(浅野会長)

・今年の生理部門の参加者は7~8人(澤野組織調査部長)

・参加者が7~8人は少ないが、昨年は倍ほど(12~13人ほど)の人数だった。(浅野会長)

・学術部門からも伝える(渡邊学術部長)

・確認します。参加スタッフは7~8名ほどが妥当か?(澤野組織調査部長)

・企画の内容にもよる(浅野会長)

・昨年は頸動脈エコー、今回は呼吸機能の一秒量のための企画。機械が何台準備できるかにもよるが、一台で2人として3台なら6人で充分と思う。昨年は案内役、検査、検査説明でそれぞれ3~4人ずつ配置していた。(渡辺学術部長)

・調整の方をお願いします。(浅野会長)

【広報宣伝部】

1. 議題なし

【渉外部】

1. 議題なし

【その他】

1. 部門長の交代等について

・今年度、部門長等々交代しそれに伴って支部の部門員も交代した。うまく報告がなされてなくて岐阜県の検査総合部門と微生物部門が支部の方に交代の連絡がいつてなかった。交代にあたっては支部部門員の申請書を支部の支部長に送らないといけない。支部の部門員を希望する場合には自分で記入し、推薦者の欄には会長が推薦理由等を記入することになっている。これらのことがある事を理解してもらわないといけないし、学術の会議で案内をしておいてください。生理部門に関しては、循環生理、神経生理、超音波と3分野に分かれていて3分野とも支部の部門員として出してほしいと要望があった。岐阜の場合、部門長、分野長と3人を選出するという事を案内しておいてください。調査すると条件に満たない方が分野長になっていたりするため、今後は分野長に選出する場合には条件の確認をしないとけない。(浅野会長)

・条件の規定は?(佐藤精度管理部長)

・支部部門員は、①日臨技や支部で発表していること②生涯教育を一度でも終了していることとなる。支部の部門長の条件は上記の①②に加え③論文や発表内容(主発表が3題以上)が条件と

なってくる。ハードルは高いが、岐阜県の部門長になり、さらに支部部門長になる場合には条件がある事を理解し、条件を満たし活動をしてください。(浅野会長)

- ・条件は日臨技のHPに掲載されているか？(渡辺学術部長)
- ・申請用紙を持っているので一度渡辺学術部長に送ります。申請用紙に条件は載っていた。(浅野会長)
- ・条件を広報しておかないと交代時に今回のようになりえる。(川合会計部長)
- ・部門員になる方や推薦したい人がいる場合には、学会活動に参加・発表するようにしないといけない。(浅野会長)

2. 岐阜県病院協会医学会について

・岐阜県病院協会医学会が10月21日(日)に開催される。岐阜県病院協会医学会に参加すると技師は生涯教育を(専門)20点取得できるため、受付係として技師会から派遣しないといけない。渡辺部長と相談し、日赤の武藤次郎さんが担当してくれることになった。学会の前日までに生涯教育の登録をして、当日受付で受付(武藤さん)をする。手順を渡辺部長お願いします。(浅野会長)

3. 平成31年日臨技中部圏支部医学検査学会について

・平成31年日臨技中部圏支部医学検査学会は岐阜が担当で8月末に来年度のチラシを三重県に発送した。詳細は、準備(実行委員)会議の中で話す。記載に不備があったので訂正をおこなった。学会当日もチラシを配布するので視察に行くスタッフはよろしくお願いします。(浅野会長)

4. 申請に関して

・理事等は技師会役員として行動する場合は、必ず出張届を出す必要がある。行動に伴って交通費や日当が発生するため事前に申請をするようにお願いします。その書類を基に毎月の会計作業(出張申請書と復命書と合わせて確認)がおこなわれている。学術に関して言えば、外部講師を招聘する場合には理事会での承認が必要なため、理事会承認→案内発送という手順を考えると早めの申請をするようにお願いします。期日に関しては厳しく指導をお願いします。承認されなければ案内は発送できないので各部門で人を集めなくてはいけなくなる。期日が間に合わない場合は、電子的に理事に申請書を配信し承認を得る事もできるが、できる限り理事会で提示ができるように手配をお願いします。(浅野会長)

5. 今年度日臨技中部圏支部医学検査学会懇親会の余興について

・今年度日臨技中部圏支部医学検査学会の懇親会:カラオケ大会の参加に希望者がいない場合も考えられるため、大垣市民病院の若手スタッフ3人に声をかけておいた。希望がある場合は連絡をお願いします。じゃんけん大会の景品(¥5,000円程度)については、高山の金や銀のさるぼぼ

(¥4,800~6,000)、郡上のG J 8マン(ジー・ジェイ・エイトマン)キャラクターグッズなど案が上がった。万人受けする持ち運びが便利なものがよい。じゃんけん大会の景品代金については当会の負担となる。(浅野会長)

6. 技師長連絡協議会(仮称)について

・技師長連絡協議会(仮称)の開催日について、精度管理報告会での開催は可能か?県学会や拡大研修会は入れ込む時間帯がない。精度管理、報告会のスタッフで一度検討をお願いします。(浅野会長)

・精度管理報告会は午前中に会議をおこなっている。技師長連絡協議会(仮称)はどのような形式で考えているのか?(佐藤精度管理部長)

・執行部も同席し、技師長など各施設の代表者に当技師会からのお願いや案内を提示し、それに対して意見を求める形式になると思う。可能であれば参加者に事前に内容はお知らせしたいと思う。時間は1時間程度。技師会の事業を運営するうえで大変な部分もあるので、最初は技師長の理解や協力を求める場にしていきたい。浸透してくれば対話形式も可能と思う。(浅野会長)

・会場は狭くならないか?現在は東海中央病院で行っている。事前予約の参加ではないため参加人数も把握しにくい。精度管理報告会は、技師長だけではなく生化学担当者や業者も参加する。(川合会計部長/佐藤精度管理部長)

・報告会を行っているときに、別の部屋で技師長連絡協議会(仮称)をおこなうのも良策ではないかもしれないし、技師長こそ報告会に参加すべきかもしれない。会場の問題もあるが、講演をなくして技師長連絡協議会(仮称)ができるのか精度管理報告会のスタッフで検討をお願いします。(浅野会長)

・検討します。(佐藤精度管理部長)

7. 症例検討会について

・以前、脳波の波形を持ち寄って症例検討をする勉強会があったが、検査結果、データを施設外に持ち出すことに対して、各施設の倫理委員会を通さないといけないのか?という意見質問があった。(川合会計部長/浅野会長)

・当会ではデータ持ち出しに関する依頼の書類はあるか?(川合会計部長)

・規定の書類はない。各施設で求めてくる資料を技師会から提出するしかない。また、施設間での差もある。大垣市民病院では、症例提示にあたっては匿名化することで了承される。また、病理ではブロックなどそこから検証や解析をするようなことになると施設の要求事項(書類等)が発生する。出ている結果をそのまま使用するのであれば匿名化で良いのではないかと思うが、施設によって対応が異なると思う。必要な書類の提示があれば当技師会から提出します。(浅野会長)

・昨年、精度管理で生理の問題を作成するために波形を使用するので、その施設の施設長宛に依頼文を書いてほしいという要望があり書いたことはあった。施設によって異なる。総合医療セン

ターは必要だった。(佐藤精度管理部長)

・その都度対応する。依頼分を書くのが、技師会の会長なのか学術部長で良いのか、精度管理部長なのかなど確認しながら対応していきたい。(浅野会長)

7. 多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会について

・今月末(平成30年9月29日(土)、30日(日))に行われる、多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会本講習会は、平成26年度から平成28年度に実施した「検査説明相談ができる臨床検査育成事業」の継承事業としておこなわれる。予算書に関して、講師料の詳細が上がってきた。外部講師に関しては1人2万円。看護師の方は看護協会からの派遣のため講師料は要らないと言われたが、看護部長という役職ですが1万円。当会員の佐々木さんに関しては、通常の学術部門では時間毎(3千円/時間)の規約があるが、長尺1時間半という講演であるし、前回の「検査説明相談ができる臨床検査育成事業」では日臨技の方から会員講師は1万円という通達があったことと、県学会や拡大研修会などの基調講演や教育講演に関して会員講師は1万円という慣例もあるため1万円で申請となった。(浅野会長)

異議なし。以上承認された。

議長 浅野 敦 

議事録署名人 長谷部 正仁 

議事録署名人 _____ 印

